

事務事業名		雲南市桜まつり事業		所属部	産業観光部		所属課	観光振興課	
総合計画 体系	政策名		〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	観光振興グループ		課長名	高橋 司
	施策名		〈36〉観光の振興		担当者名	桑原 真由美		電話番号	0854-40-1054
	目的	対象	A)市外の人 B)市民	意図	A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。 B)観光情報を発信する。		(内線)	2433	
	基本事業		〈105〉観光資源の充実		予算 科目	会計	款	大事業	大事業名
	目的	対象	観光客	意図		魅力ある観光商品を購入・消費する。		0 1 3 5 0 1	0 1
					項	目	中事業	中事業名	
					0 5 1 5 6 8	0 8		日本一さくらのまちづくり 事業交付金	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
観光客	雲南市を訪れてもらう。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	合併前まで各町で実施していた桜まつりを雲南市桜まつりとして名称のみ統合実施。 ・木次(日本さくら名所100選斐伊川堤防桜並木) ・三刀屋(三刀屋川河川敷、みどりの桜「御衣黄」) ・大東(河津桜、丸子山公園) ・加茂(中央公園・赤川中心) ほか
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①桜まつりの企画・会議・関係機関との調整・PR・会場準備・イベント運営・警備等。 ②観光客、マスメディアの問い合わせ対応。 ③山陽・関西方面へのプロモーション。(チラシ、新聞、ポスター掲出)	島根県から指摘のあった旧市役所前の雪洞設置について、県や地元と調整を図り、設置可能な場所を選択し雪洞を設置した。 2023年より体感フェア実行委員会(事務局:雲南市政策推進課)を廃止し、雲南市桜まつり実行委員会と統合した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 観光入込客数	千人	934	1,000	1,073	1,160
イ 観光消費額	百万円	1,872	2,043	2,255	2,781
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
交付金 11,631千円 2023(R5.4.1～2) 7,245千円 2024(R6.3.30～31) 4,386千円		財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円	5,400	5,656	11,631	3,042
			一般財源	千円				
		事業費計		千円	5,400	5,656	11,631	3,042

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	2023雲南市桜まつりは、コロナ禍以降、4年ぶりのステージイベント開催となり、多くの人出で賑わった。桜まつりの入込客数は年々増加しており、市内外からの多くの観光客に観賞してもらえる機会となっている。
② 事業実施するうえでの課題	市全体のイベントとして盛り上げていくための組織の見直しが必要。 警備費や電気設備設置費用などの値上げに伴い、年々予算を増額して対応しているが、持続可能な形で事業を継続できるよう、事業の見直しや財源獲得の方法など検討が必要。
③ 課題解決に向けた改革改善等	関係機関と協議を行うなど連携して桜まつりの準備を行っている。 桜の開花状況やイベントなどの情報を観光協会と連携して発信している。